

まちの話題



全国の観光鍾乳洞が 香美市でサミットを開催

『第二十回日本鍾乳洞サミットin香美』が十月四日、保健福祉センター香北で開催されました。

同サミットは、日本鍾乳洞協会と開催地が主催して毎年開催している

もので、今年も、全国八カ所の鍾乳洞から関係者が参加しました。

サミットは、『外国人観光客の受け入れ対策』をテーマに、各地のユニークな取り組みの報告や、観光客誘致に向けた意見交換が行われました。

終わりに、龍河洞保存会の岡本和夫会長から「観光客のニーズに対応した魅力ある鍾乳洞観光地づくりと、

時代の変革に対応する組織づくりを進めていこう」と提案された共同宣言を全員で採択し、観光鍾乳洞と関係市町村の連携強化と発展を誓い合いました。



▶全国8カ所の鍾乳洞がサミットに参加



白熱した中学生 対 高校生の綱引き

大柵の小中高が 一つになった運動会

九月二十二日、大柵小と大柵中の合同運動会が大柵中グラウンドで開催されました。

小中合同開催が四回目となった今年は、午後の部から大柵高校も初めて参加し、小中高が一つの運動会で競

技しました。
閉会式では、運動会実行委員の中学生が、「大柵の小中高が一つになって楽しい運動会ができました」とあいさつし、その後、全員でエールを斉唱し、全力を出しきった互いの健闘をたたえました。

初秋の舟入川沿いを ウォーキング

今年で五回目となった舟入川ウォーキングが九月二十三日に開催されました。

このイベントは、三百五十年前に野中兼山によってつくられた山田堰や舟入川沿いを歩き、舟入川が果たしてきた「人々の交流」「農業用水」としての重要な役割について学び、水を育む山と川・海のつながりを考えてもらおうと、山田堰井

筋土地改良区が中心となった実行委員会が主催したものです。

参加者は、旧山田堰跡を出発し、途中、山田堰や舟入川の建設に尽力した野中兼山にまつわる史跡を訪れ、歴史講座を聴講しながら、南国市駅前緑地公園まで約八キロをウォーキングしました。また、小学生四十人が、「材木をいかに組んで運んだ」という昔のエピソードにちなみ、コース途中から約二キロのいかだ下りに挑戦しました。



舟入川に沿って約8kmをウォーキング

救命訓練で楠目小に『りょうま』が飛来

九月二十五日、楠目小グラウンドで、高知県消防防災航空隊と香美市消防署が合同で救急連携訓練を実施しました。

楠目小児童と周辺住民らが見学する中で訓練は行われ、高知県消防防災ヘリ『りょうま』がグラウンド

に飛来すると、児童らはその迫力に「すごい！すごい！」と興奮気味に驚いていました。その後、着陸した『りょうま』を間近で見た児童らは、コックピットを興味津々でのぞきこんでいました。



防災ヘリを見学する児童



▶賞状を手に喜ぶ
天野政子さん(写真左)

100歳 おめでとーございます

今年度、香美市では十人の方が百歳を迎えられました。九月二十日には、門脇市長が百歳になられた方の自宅などを表敬訪問し、長寿を祝いました。
※百歳を迎えられた方は次のとおりです。

〔物部町〕
近藤榮子(山崎)

- 〔香北町〕
- 森本豊重(猪野々)
- 平山春生(永野)
- 岩崎信枝(永野)
- 前田幸絹(永野)
- 〔土佐山田町〕
- 天野政子(北滝本)
- 岡林玉尾(新改)
- 門田恒美(楠目)
- 上田鶴子(西本町)
- 西村信雄(山田)

コーヒーサービスで居眠り運転防止をPR

秋の全国交通安全運動期間中の九月二十六日、香美警察署前で、『交通安全コーヒーサービス』が実施されました。

同サービスは、過労や居眠り運転の防止を目的に、香美市商工会サービス業部(澤谷喜久男部長)が主催

し、今年で三十七回目となります。当日は、商工会会員のほか、交通安全関係団体などが参加し、「安全運転で、お気をつけて!」と明るいつと笑顔を添えてコーヒーをドライバーに手渡していただきました。



ドライバーに缶コーヒーをサービス

新校舎建設で働く人へ感謝の授業 ―大宮小学校―

十月五日、大宮小三年生の参観授業で『心のせんせい』による道徳授業が行われました。

▶新校舎建設の話聞く児童



授業は、働くことの大切さや働く人への感謝の気持ちを育てることを目的に行われたもので、現在の校舎建設二期工

事に携わる方々が『心のせんせい』として授業に招かれました。設計業者の細木さんと平野さん、建設業者の仙波さんなどから話を聞いた児童は、莫大な建築費用や設計図の細かさ、建設に関わる人の多さに驚いていました。児童は授業後の感想で、汗を流して働く多くの人への感謝の気持ちを、参観した保護者の前で発表していました。